

SVB破綻の余波で質への逃避の動き強まる



シニア・ストラテジスト 石黒英之

ポイント① SVB破綻の余波で強まる質への逃避

米シリコンバレーバンク（SVB）の経営破綻の余波を懸念し、投資家は急速に質への逃避の動きを強めています。13日の米国市場では、米2年国債利回りが前営業日比で0.6%ポイントあまり低下し、3日間の低下幅としては1987年のブラックマンデー以来の大きさを記録しました。こうした動きは欧州でもみられ、13日の独2年国債利回りは同0.41%ポイントの低下となり、1日の低下幅としては過去最大となりました（右上図）。

13日の米国株市場でもSVB破綻の動揺が収まらず、米地銀株の動きを示すS&P500地銀株指数は14.9%下落しました。同日、米ファースト・リパブリック・バンクの株価が前営業日比61.8%下落するなど、米当局が預金者保護や銀行システムへの信頼を強化する安全措置を発表したにもかかわらず、投資家の疑心暗鬼は続いているようです。

ポイント② FRBが利上げを停止する可能性浮上

SVBの破綻は世界の中央銀行の金融政策の先行きにも影響を及ぼしています。市場が予想するFRB（米連邦準備制度理事会）のピーク金利までの累計利上げ幅は大きく低下し、来週のFOMC（米連邦公開市場委員会）では利上げが行なわれず、FRBが利上げ停止に追い込まれるとの見方も浮上してきました（右下図）。

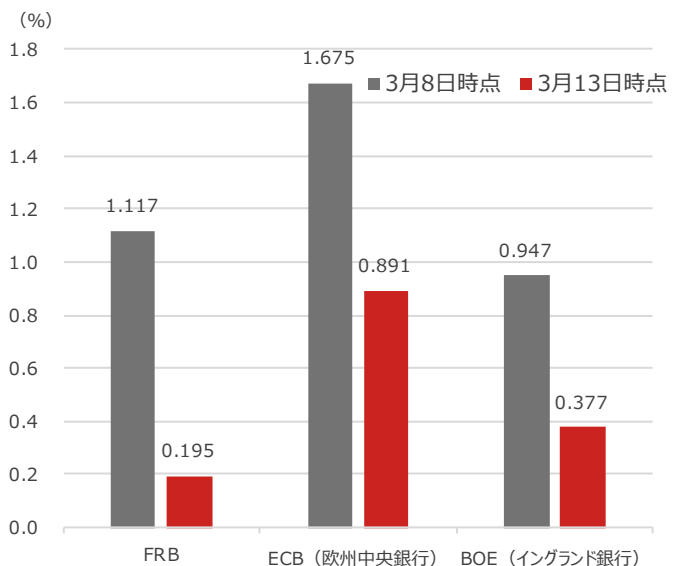
SVBの経営破綻により欧州の金融株も急落しており、世界的な金融システム不安に発展することへの市場の警戒は強まっているといえます。インフレ懸念も根強いなかで、各中央銀行の金融政策だけで市場を落ち着かせるのは難しい側面もあり、当面は政府と中央銀行が連携して打開策を打ち出せるかが焦点となります。

米10年国債利回りと米独2年国債利回り



期間：2022年1月3日～2023年3月13日、日次
・すべてブルームバーグ・ジェネリック国債利回り
（出所）Bloombergより野村アセットマネジメント作成

米欧英中銀のピーク金利までの累計利上げ幅予想値2時点比較



期間：2023年
・FRBはFF（フェデラルファンド）金利先物市場から算出したピーク金利までの累計利上げ幅予想値、ECB、BOEは短期金融市場から算出したピーク金利までの累計利上げ幅予想値
・3月8日はSVBの親会社株が急落し経営不安が高まった日の前営業日、3月13日は直近
（出所）Bloombergより野村アセットマネジメント作成

個別銘柄の記載は、特定銘柄の売買などの推奨、また価格などの上昇や下落を示唆するものではありません。

*当資料は、一部個人の見解を含み、会社としての統一見解ではないものもあります。

当資料は、投資環境に関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に示された意見等は、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更される事があります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆ないし保証するものではありません。投資に関する決定は、お客様ご自身でご判断なさるようお願いいたします。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡します投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認ください。